

皮膚の弾力のもととなるエラスチンの分解酵素(エラスターゼ)の働きに対する阻害効果を測定します。エラスターゼの活性を阻害する事で、肌のハリやシワの形成に対する効果が期待できます。
 弊社では、エラスターゼの由来別(セリンプロテアーゼ、線維芽細胞由来)に二種類の試験があります。

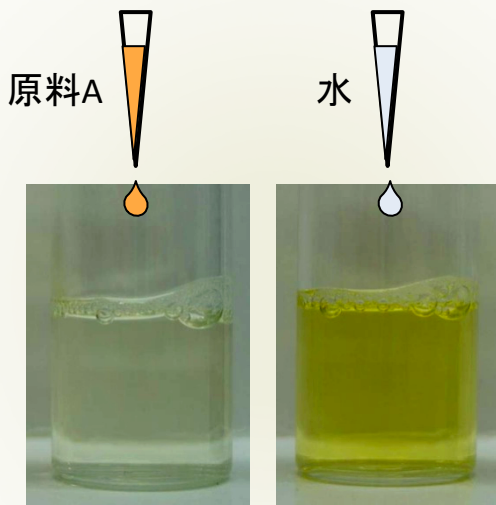
試験目的:シワ、ハリ・弾力

データ活用:社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出:数値 画像 (但し検出が薄い黄色である為、検体によって画像不可)

データ例:

原料Aの効果を目視で確認

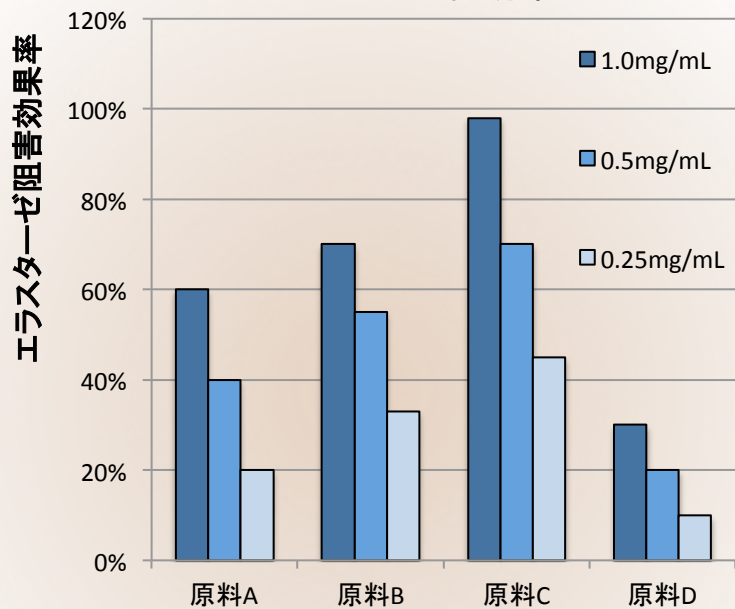


効果有

効果無

原料Aにエラスターゼの活性を抑制する効果が確認される

エラスターゼ阻害効果



	原料A	原料B	原料C	原料D
効果	○	○	◎	×

原料A、B、Cに抗酸化効果が確認され、特に原料Cの効果が高い

線維芽細胞由来エラスターゼ活性阻害効果試験

線維芽細胞から抽出したエラスターゼ(MMP:マトリックスメタロプロテアーゼ)を用いて評価する試験です。

エラスターゼ(セリンプロテアーゼ)活性阻害効果試験

試薬のエラスターゼ(セリンプロテアーゼ)を用いて評価する試験です。